

平成18年度

市民公開シンポジウム

参加費
無料

テーマ：病院における放射線の被ばくを考える
「わたしの受けた放射線は大丈夫！」

日時：平成18年11月25日(土) 13:00～17:00

会場：山梨県立文学館

〒400-0065 甲府市貢川1-5-35 (FAX：055-226-9032)

問い合わせ先：加藤 英幸 (katohide@ho.chiba-u.ac.jp)

千葉大学医学部附属病院 放射線部

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL：043-226-2335/FAX：043-226-2336

中央自動車道甲府昭和ICから

料金所を昇仙峡・湯村方面へ出、200m先左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km走り、貢川(くがわ)交番前交差点左折、国道52号線を韭崎方面約1km左側。

JR中央線甲府駅から

南口6番線・山梨交通バスのりばから貢川団地行、芦安(あしやす)行、社会福祉村行、大草(おおくさ)經由韭崎駅行、竜王(りゅうおう)經由敷島営業所行のいずれかで「山梨県立文学館東」または「山梨県立美術館前」下車。

内容：第1部

基調講演 「ここまでわかっている放射線の人への影響」

丹羽 太貴 (京都大学放射線生物研究センター)

第2部 パネルディスカッション 「わたしの受けた放射線は大丈夫！」

1) 最近の放射線診療

荒木 力 (山梨大学医学部附属病院副病院長)

2) 装置を安全に使うために

宮崎 旨俊 (山梨県立中央病院放射線部)

3) 看護師から見た放射線診療

矢崎 正浩 (山梨大学医学部附属病院看護部)

4) 市民から見た放射線診療

若尾 直子 (山梨県ボランティア協会
山梨まんまくらぶ代表)

第3部 質問と討論

司会：加藤 英幸 (千葉大学医学部附属病院)

内田 雅美 (山梨県厚生連健康管理センター)

主催：日本放射線技術学会 日本放射線技術学会関東部会 医療放射線防護連絡協議会

後援：山梨県、甲府市、山梨日日新聞社、NHK甲府放送局、YBS山梨放送、山梨県医師会、山梨県歯科医師会、(社)山梨県看護協会、日本助産師会山梨県支部、(社)山梨県放射線技師会、甲府市医師会、日本医学放射線学会、日本歯科放射線学会、日本核医学会、日本核医学技術学会、日本アイソトープ協会、日本画像医療システム工業会